

「食わず嫌い」から
「自信と誇り」へ

「老人クラブ」と言えば、ちよつと引かれたり、身構えられたりと、いろいろな拒否反応をいくつも経験しました。「食わず嫌い」という言葉がありますが、昔は私も同じ拒否反応を示していました。

しかし、老人クラブに加入して、みんなとスポーツを楽しんだり、旅行したり、公園の清掃などをしていくうちに、「老人クラブの活動は楽しいもんだな」という考えに変わり、今では、会員であることに「自信と誇り」を持てるようになりました。

老人クラブを通して
「生きがい」を見つける

「老人クラブに入って何

か得ることがあるとね」との声も聞きます。私は、老人クラブでみんなと話し、遊び、旅をし、その中で喜びを感じる、それが「生きがい」に繋がっているのではないかと思っています。

こんな言葉を思い出しました。「人として最高の喜びとは、人や地域の役に立つこと。人や地域に喜んでいただけたなら、それは最高の幸せだ」これからも、この気持ちを忘れず仲間を広めていきたいと思えます。



桂川町老人クラブ連合会

とみた みつひろ
会長 富田 光廣さん

みんなで健康、地域に貢献 みんなで広げよう、輪、和、話

(桂川町老人クラブ連合会 スローガン)

会員の声

桂老連の活動に興味がある方は、お住まいの地域の老人クラブまたは桂老連にお問い合わせください。

【問合せ先】

桂川町老人クラブ連合会事務局（富田）

☎65・0305

一人ではできないことも、老人クラブで声をかければ、みんなで協力してやることができます



なかはら ひさよ
中原 久代さん
(土居三)

他の行政区の方と知り合いになり、色々な知識や情報を交換でき、仲間同士のふれあいを実感できます



さわた あきら
澤田 昭さん
(土師七)

「互幸会」では、普段の自分とは違う姿に変身できます。歌ったり踊ったりすることで、健康にも良いです



なかの みちこ
中野 美智子さん
(九郎丸)